

第 154 回東葛しぜん観察会

ワラで楽しく作るお正月飾り

草野幸子（松戸市）

日時：2018 年 12 月 9 日（日）10～12 時 天気：晴れ

場所：21 世紀の森と広場パークセンター（松戸市）

参加者：25 名（子ども 1 名） 参加指導員 9 名

担当指導員：三嶋、草野、平田 講師：日野原、三角

21 世紀の森と広場 パークセンターでのお正月飾り作りは今年で 3 回目になります。毎年好評のイベントでパークセンターとの共催で実施することになってからは広報紙への掲載、参加者募集、会場の提供などをして頂けることになり、担当指導員は材料の準備、特に稻わらや松葉の調達、縄ないやお飾り作りの練習、お正月に所縁のある植物の用意、参加指導員の募集などに専念する事が出来ました。お正月飾りのピックなどの材料準備は講師の方が問屋で購入してくださるので低価格で準備することができ、500 円の参加費の中で立派な物が用意できます。稻わらは担当指導員が地域の方々と作っているもち米（マンゲツモチ）のわらを分けていただきます。今年は長くきれいなわらで扱いやすかったです。なわ縄は毎年参加している自分も年に一度の事なので上手に出来ず、藁をもらって帰り夜なべ仕事で練習しました。

イベント開始の挨拶の後、しめ飾りについて、いろいろな形や種類があること、飾る物の由来、お正月に所縁のある植物の紹介をしました。マンリョウ（万両）やセンリョウ（千両）は目にすることが多いですが、十両がヤブコウジ、一両がアリドウシと言われることやウラジロが使われる訳など興味を持って聞いていました。

お飾りは赤い水引、緑の松葉、マツボックリ、ヒマラヤスギのローズ、扇面と羽子板のピック、追羽根などを付けました。飾りを付ける位置は皆さん好みやアイデアで思い思いにしたので、同じ材料で作っても自分だけのオリジナル作品が出来、皆さんとても楽しかったし、満足だったと言って下さいました。

今年はキャンセルがあり参加者が 25 名でしたので作業は少し楽でした。大変なところもありますが参加者のみなさんが笑顔でお飾りを手にして帰られる様子を見て今年もやって良かったなと思いました。



しめ縄にお飾りを取付け 世界で唯一のお正月飾りが完成